

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、わかりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

これまでの活動状況

2月28日時点

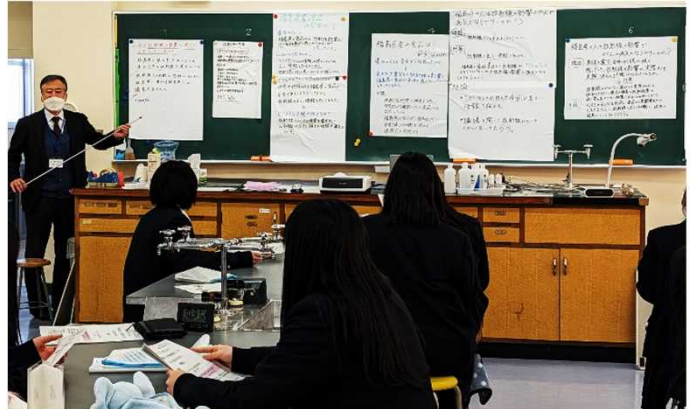
項目	2022年度 2月分	2022年度 累計	
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター (単位：回)			
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	1	19
	専門家派遣	0	15
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	12	159
	車座意見交換会	0	17
■環境再生プラザ (単位：回)			
・専門家派遣	自治体など	5	27
	小中学校など	1	43
	その他	0	20
・移動展示	0 (0日)	61 (66日)	
■その他 (WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)			
・内部被ばく検査 (WBC)の支援	4	99	
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援	8	78	

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター実施分)

- ◆研修会 ・ 2/10 双葉町職員
- ◆住民セミナー ・ 2/1 二本松市立塩沢小学校
- ・ 2/6 いわき市立平第一小学校
- ・ 2/7 いわき市立平第一小学校
- ・ 2/8 田村市立大越中学校
- ・ 2/21 福島県立光南高等学校
- ・ 2/25 福島市内勤務の外国人・留学生



専門家（長崎大学・高村昇教授）による放射線の講義（2/10・双葉町職員研修）



「福島県や放射線のことを正しく伝えるには」グループディスカッション（2/21・光南高等学校）

(環境再生プラザ実施分)

◆専門家派遣

- <自治体など> ・ 2/7 広野町環境防災課
- ・ 2/14-15 広野町環境防災課
- ・ 2/16 鮫川村農林商工課
- ・ 2/28 広野町環境防災課
- <小中学校など> ・ 2/14 玉川村立玉川中学校* * 一部オンラインによる実施



風評、食品の安全性、玉川村特産のさるなしについてグループディスカッション（2/14・玉川中学校）



校庭で放射線量を測定（2/14・玉川中学校）